

○「辰中システム」の構築・推進

目標 (学校経営ビジョンをうけて)

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現 : 授業改善, 資質・能力の三つの柱, 学習の定着
- ② 授業における辰人スタイル : 授業規律, 目標達成にこだわった授業づくり
- ③ 学力の検証 : 調査問題の効果的活用 (PDCA サイクル)

(1) 授業改善

[研究部, 教務部, 教科部会]

- ① 校内研修会の充実
- ② 教科部会の充実
- ③ 目標達成にこだわった授業実践の視点からの授業改善
- ④ 授業づくりの工夫 (専門性, 同僚性)
- ⑤ 指導と評価の一体化 (国・県学力調査, 各種評価テストの分析・考察, 学習評価の改善)

(2) 授業における辰人スタイル

[保健文化部, 生徒指導部, 研究部]

- ① チャイムが鳴る前に, 教材を準備して着席する。
- ② 大きな声で「語先後礼」する。
- ③ 本時の課題をつかむ。
- ④ 姿勢を正し, 相手の目を見て話を聞く。
- ⑤ 自分の考えを持つ。
- ⑥ お互いに考えを伝え合う。
- ⑦ 本時の課題についてまとめ, 振り返る。

(3) 家庭学習の充実

[生徒指導部, 学年会, 研究部]

- ① 時間の三点確保 (起きる時間, 勉強を始める時間, 寝る時間の固定)
- ② 学年の実態に応じた具体的手立て (家庭学習ノート, 基礎プリント, 受験対策など)
- ③ 家庭での時間の使い方指導 (学習時間, メディア時間)

(4) 学びの場の広まり

[学年会, 生徒指導部, 研究部]

- ① 朝学習の充実 (朝読書, 新聞タイムなど)
- ② 補充学習・放課後学習など